

第7回はりまや橋周辺から高知城までの東西軸エリア活性化プランフォローアップ委員会
議事概要

日時： 平成28年2月17日（水）13:30～15:30

場所： 総合あんしんセンター 3階大会議室

出席者： はりまや橋周辺から高知城までの東西軸エリア活性化プランフォローアップ委員会委員

委員長 青木 章泰
副委員長 広末 幸彦
副委員長 岡内 啓明
委員 古谷 純代
委員 木村 祐二
委員 長谷川 末子
委員 竹内 克之
委員 松田 誠祐

高知県

総務部長 梶 元伸
政策企画課長 竹崎 恵彦 外

高知市

副市長 井上 哲郎
商工観光部長 中澤 慎二
商工観光部参事 狩場 信壽 外

1 開会

高知県総務部長 あいさつ

2 議事

東西軸エリア活性化プランの総括について

【資料4、5】市商工振興課説明

【資料6】 県政策企画課説明

質疑・意見

(委員)

プランで決めたことが着実に実行され、成果も上がって来つつある。特に中心商店街の西側は、新図書館や高知城歴史博物館、また西敷地の活用などにより、間違いなくさらに盛り上がってくる。

エリアの東側の地域をどうしていくのかが大きな課題。過去の委員会で夜の観光スポットや屋台の集積について意見を述べたが、ヨーロッパなどで一ヶ月間開催されている「ナイトバザール」を実施してはどうか。協議会を設立し、はりまや橋公園で若者を中心に飲食や物販を行えば、お金を使わずに東地域の活性化が進むのではないかと。

今までの取り組みについて、PDCAをされてきたことには敬意を表したい。

<事務局>

西側はハード的に整い、それに伴い魅力もアップしてきていると認識している。実際に歩行者通行量

を見ても西側はかなり良くなってきている。

一方で東側の課題も重々認識している。今年度で東西軸プランは終了するが、高知市中心市街地活性化基本計画（中活）に引き継いでいく。中活についても H29 年度で終了するが、来年度予算の中でその次をどうするか予算も組んでいきたいと考えており、その中で東側の活性化も論議していきたい。西と東がそれぞれ盛り上がって回遊するというのが大事なので、いろんなご提案をもらいながら検討していきたい。

（委員）

5 年間県市が一緒になって着実にできることから仕上げてきたことについて、敬意を表す。

高知城の案内版について、多言語の表示は検討しているのか。また、今年は 20 隻近い外国客船が来るが、商店街の受入体制ができていないか、Wi-Fi 環境の整備状況がどの程度まで進んでいるのか聞きたい。

前々回の委員会でも提案したが、中心商店街へ行くための電停の場所の在り方について、特に南北の電停は商店街とうまくリンクできておらず、ずいぶん離れた電停から商店街に入っていかなければならない状況。具体的には、はりまや橋商店街や京町に行くためには、四銀前の電停で降りて信号をいくつか渡らないといけない。

かるぽーとやはりまや橋バスターミナル周辺にも電停がなく、菜園場かはりまや橋電停で降りないといけない。商店街と公共交通がうまくリンクできていない。

また、はりまや橋の北側は横断歩道がなく人が渡れない。そういったことも商店街へ人を誘導する点でマイナスになっている。この辺を改善すると、中心商店街へ人の流れがよりスムーズになるのではないか。改善できるのであれば改善するべきで、物理的に場所が確保できなければ致し方ないが、十分できるのではないか。引き続き検討してほしい。

<事務局>

高知城の多言語化について、パンフレットは既に多言語化しており、本丸御殿の城内案内などは今年度末には多言語化を図る。城内展示は来年度整備する計画になっている。

<事務局>

Wi-Fi は商店街に関しては整備できたとの認識であり、両替所も、すぐ両替ができる店舗が西側だけだったが、東側にも 1 店舗できるなど、徐々に実施していった。

個別の飲食店では、英語のメニュー化について「おせっかい協会」が定期的に相談会を設け、現在 50 店舗近くが英語化を進められている状況。また、具体的な買い物のやりとりも、今年 1 月から月 1 回、英語と中国語で実際のやりとりの実践を始めており、今後も定期的に商店街を中心にやっていきたい。

今後も、面的なハードの部分、店舗の多言語化といったことに取り組んでいきたい。

<事務局>

公共交通についてのご意見は、交通関係の所管につないでおく。

（委員長）

エリアの中で、個々ではなく全体から俯瞰してまだまだ足りないところはないか。交通についても、回遊性の中でのつなぎは十分なのか。常に検討していく必要がある。

（委員）

中央公園地下駐車場について、3 千円以上の買い物で 1 時間無料だが、イオンは買い物をしなくても

無料。駐車場問題が大きな課題。

昨年、大リーグのパドレスの選手が来た際、高知城からひろめ市場、商店街、よさこい情報交流館に至るまで連れていったが、見たい所がありすぎて時間が足りないと、ものすごくエキサイトしていた。外国人にとってはものすごく魅力を感じられる所。

問題は、トイレがないことと外国語のガイド。高知城のボランティアガイドも普段は1人しかいないので、リタイヤした方を教育し増やしていくとか、英語の勉強のために高校生や大学生にガイドしてもらうとか、インターネットで案内ができるようにするなど、もっと工夫していけば、外国人や県外観光客、高知に住む人にとっても中心街に滞在する時間が増えてくるのではないかと。

ドイツでは古城がある所には夜市が立ち、全世界から数百万人が集まるバザールがある。国内でも福岡や横浜などでも始まっており、高知の中心市街地もそれに値すると思うので、そういったイベントを検討してもらいたい。そうすると中心市街地のお店ももっと遅くまで開店してもらうことも必要になってくる。

<事務局>

中央公園地下駐車場については数値目標を達成していない。1時間無料サービスなどが起因していると考えている。元々2時間の目標を設定するのであれば何らかの方策が必要だったのかもしれないが、商店街の負担の面があるため、すぐに解決できる問題ではない部分もある。この取り組みは、新たに中活に記載したので今後も中活の中で取り組みを進めていく。

イベントについては、中央公園ではイベントが年100回を超えるペースで開催されており、他県に例を見ない活用をされている。週末に行けば必ず何かが行われているという現状にある。イベントに来た方をどう回遊させるかが今後の課題。

<事務局>

外国人観光客には、高知城とアーケードの組み合わせは評価が高い。また、高知は他の地域と違って困っていたらすぐに地元の人が助けてくれるという点が評価を上げている部分である。英会話教室の生徒がおせっかい協会に入るなどボランティア系のグループが膨らみつつあり、そういった方々が街中でがんばっていただける仕組み作りをどんどん進めたい。

また、高知市も翻訳アプリを入れたタブレットを貸出すなど、やりとりのサポートも始める。街中の国際化を県市一緒になって進めていきたい。

(副委員長)

駐車場無料サービスについては合計3時間まで無料サービスがある(※)が、過去の委員会で周知が徹底されていない、知らないとの声があった。3時間まで無料なので駐車時間2時間という目標値についても、買い物をすれば十分満たせる。しかし、買い物をしなければ無料でないと言われたら困る点。(※3千円以上の買い物で1時間無料のサービスを3店舗まで受けられる)

昨年秋頃から、中心商店街の交通サービスや自転車利用について、11時から18時の間、毎時8分間PR放送をしている。啓発することで浸透してきており、自転車もだいぶ降りて押すようになってきた。バス、電車、タクシー全てで無料サービスがあることもPRしている。これを継続していきたい。

東西軸プランについては、平成23年にスタートして、フラフなどすぐできることはスタート時から実施し、継続してやっていることが成果にでてきている。よくこれだけのメニューをこなしてきたなど思っている。大きなハード整備を目の当たりにして、個店の皆さんの意識の変化はひしひしと感じる。

チャレンジショップや業種転換の補助もあるが、これからの中活においては、もう一歩個店のレベルアップ、個店の魅力アップや改革に力を貸してほしい。新規創業や改装もできるようになったので、もう一歩進んで、外部で営業している方が空き店舗に入って来る時の手立てなど、新陳代謝により新しい

血が入ってくるようなシステムを構築してほしい。

外国人観光客への対応について県市と商店街でよく話し合いをしているが、案内所がよく話題になる。外国客船が来る度にNTT前にテントを張り対応しているが、常設でトイレも併設した観光案内所が商店街にあったら良い。

公共交通の関連では、電車とバスの事業者が一つになり、電車とバスの乗り継ぎや停留所の位置について考え易くなったはずなので、とさでん交通と協議し検討していただきたい。

また、新しくなる市役所の前にバスのロータリーはできないか。面積的に2・3台駐車するくらいは十分可能ではないか。県庁、市役所に行き易くなり、そこから大橋通りに歩いてくるのが期待できる。

<事務局>

空き店舗は中活の数値目標にも入っており、課題である。今の支援制度で良いか改めて内部で検討を進めており、平成29年度からの実施に向け関係部局で考えていきたい。

外国人向けの常設の案内所については、具体的に何か作るという検討はされていないが、来年度は多くの外国客船が来るため、街へ来ていただいた方の受け入れ体制が必要になることから、これから重要な課題になる。ハード整備か既存のもので対応するのかを含め検討を加えていきたいとのことである。

<事務局>

バスターミナル、ロータリーについては、新しい市役所前は広場にはなるが、市民が集える場として整理しており変更はできない。なお、とさでん交通が今年秋のダイヤ改正へ向け検討中であるが、高知駅バスターミナルと県庁前を2大拠点にすると伺っている。出発時間までの5分から10分間に何台かが待機するスペースが必要であり、市役所前では対応できない。

(委員)

東西軸プランで一番気になっていた中央公園のトイレの改修が実現し本当にうれしい。よさこい祭りや中央公園で多くのイベントを行ううえでどうしても気になり一番やってほしいことだった。一方、高知城の下のトイレはどうか。それほど悪くはないが、良くもない。臭いがあり、進んで使おうという気にはなれない。ここも今後考えていかなければならない。

街を歩いていて、商店街の人や街行く人々が、人に優しくなった印象がある。困ったことがあった人に優しく声をかけており、それが交流人口が少しずつ増えている一つの要因でもあるのかなと感じた。人が人に優しくなければ人を呼び込むことはできない。ハード面だけでなく、商店街の皆様はより来街者に優しく接してあげてほしい。

授乳やおむつ交換施設について、マップに載せただけではなかなかそこには行き着けない。飲食店や大きな施設にシールを貼るなど、ぱっと目に付くようなものがあるといい。

<事務局>

追手門近くのトイレは、平成元年に設置し、1日2回清掃して清潔には気をつけている。どう改善できるか指定管理者とも話していきたい。

なお、お城の北の駐車場のトイレが狭隘・男女共用ということもあり、平成28年度にトイレを新設するようにしている。

<事務局>

授乳施設の表示については、マップの改訂を検討しているので、今回のご意見も参考にしながら検討していく。

(委員)

委員から商店街の閉店時間の話があったが、昔は 8 : 30 から 21 : 30 頃まで 3 交代で開けていたが現在は長くても 20 : 00 まで。後継者不足と高齢化によるもので、課題である。店舗が住居になっておらず通う人が多くなったため商店街の中に住んでいる人口が少ないことも、非常に難しい問題で実は困っている。長く店を開きたい思いはあり、年中は難しいが、イベントでこれだけは絶対やってという日があればやり易い。

(委員)

事務局の説明を聞いて、よくやってもらっていると思っている。

情報発信のホームページを作っているとの説明があったが、若い方がよく使う携帯電話での表示を見やすくするとか、情報を地図上に表示するようにすれば分かり易くなる。

全体としては良いと思っている。

(委員長)

取り組みを「住民向け」と「観光客向け」に分類すれば、観光客向けが多い。住民と観光客、観光客の中でも外国人と日本人ではどうかといった切り口での検証が必要。

取り組みを点とゾーン、エリアで考えるとともに、そのつながりがどうかの視点も大事。点からエリア全体の流れを見る、又はエリア全体から見て点・ゾーンがどうか、今一度検証していく必要がある。

それぞれの取り組みでマップや案内版、ホームページで情報掲載と記載があるが、スマートフォンで見れるか、ホームページに載せているか、紙ベースになっているかなど、情報ツールの視点から全体の取り組みを検証していく必要もある。

このように、いろいろな観点で全体を見てみるのが大事。特にパンフレットなどは、ゾーン全体でどこから観光客が見てもすぐ近くにあるかということなども検討してほしい。

過去の委員会で言ったが、高知の街全体で四季を感じられる街づくりができればさらにいい。高知は歴史、自然、文化だと言っているのも、それらをどのような形で街づくりに活かしていくかという視点も大事。

福岡の天神地下街にすばらしいトイレができています。トイレはインパクトがあるものであり、一つの発想として、それくらい立派なものを作るといふことも考える必要がある。

空き店舗率は目標を達成しているから良いと考えるだけでなく、街を歩いている人から見て空き店舗をどう考えるか。ただ店舗が埋まればいいのか、質的にどうか、街づくりとしては厳しい見方も必要。供給側からではなく需要側からどうかということが必要。

地下駐車場の平均利用時間は、2 時間以上にしたいという意味合いで目標設定しているのだろうが、現実の数字を見ると、この意義はどうかという感じもした。

はりまや橋バスターミナルの利用台数も 1000 台を超え達成しているが、達成してどうなのか。良くなっているのか、これだけでは見えない。

日曜市のパンフレットを年間 1 万部配布とあるが、車で来る方に対して分かり易いか。どこから来ても分かり易いことができていますか。

ロッカールームについて触れられていないが、必要無いか。

(委員)

ロッカーは時々聞かれる。

(委員長)

取り組み 7-1 でいろいろなイベントをがんばってやっていただいている。「今後の対応」欄に「各個

店の新規の顧客獲得やリピータにつながるイベントの実施に向けて内容の検討・充実を図る」とあるが、このリピーターをどのような形で確保するか、その効果測定をどのような形でやっていくのかが大きな課題ではないか。

取り組み 7-3 せり出し商いプロジェクトや 7-4 のおかみさん市は、賑わいの創出には相当つながっていると思う。できれば、それによって個店の売上げに繋がってほしい。

空き店舗対策は、出店の話はあるが退店はないのか。何か問題点はないのか。その点が不明。

(委員)

退店については、家賃が高すぎるということが最も大きい理由。借りてもすぐ出れるという意識がある。

(委員)

商店街の活性化は、商店街の方々が一番ご努力いただかないといけないと思う。委員から特定の日なら遅くまで店を開けるとの発言があったので提案したい。土曜夜市は商店街の方々が中心でやっておられるのに店が閉まっており、本末転倒。店を開けているからこそ土曜夜市をやる意味があるのであって、店を閉めるのなら意味がない。せめて土曜夜市の時は、市が終わるまで店を開けることを努力目標にさせていただいたらありがたい。

<事務局>

空き店舗対策では、退店はやはりある。家賃の問題、意欲の問題、当初の計画どおりにいかなかったという理由で退店するケースがある。家賃補助も最大でも 6 ヶ月間であり、この期間内で経営を軌道に乗せきれない方は意欲が減退する。この点が課題。

エリアの検証の話については、東西軸プランには、「高知城」「追手筋」「追手前小敷地」「アーケード・おびさんロード」「中央公園」「はりまや橋」というスポットを定めているが、ご指摘いただいたようにスポット毎の成果の検証には至っていないので、スポット毎にどうだったか事務局で検証したい。

(委員長)

このフォローアップ委員会も今回で最後になる。ずいぶん県市の事務局には苦勞をかけている。

取り組みが着実に前に進んでいることは間違いない。これからも県市と一緒に取り組んでいきたい。

3 副市長閉会あいさつ

4 閉会